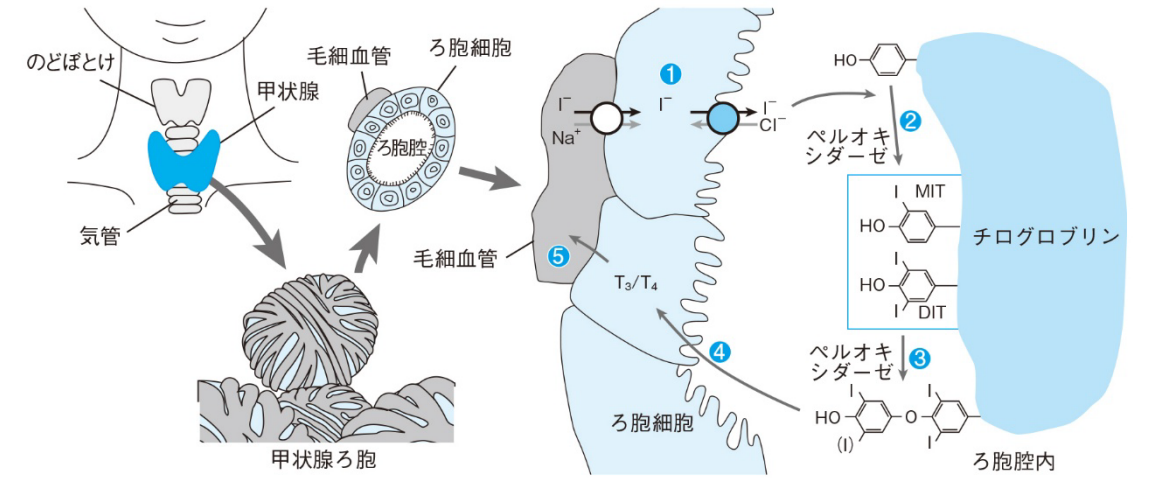


正 誤 表

「コンパス生化学（改訂第3版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
71	図4・5	略	<p>図差し替え</p>  <p style="text-align: center;">図 4・5 甲状腺ホルモンの生成</p> <p>①毛細血管からヨウ素イオン(I⁻)がろ胞細胞に能動的に取り込まれ(Na⁺との共輸送による), さらにろ胞腔内に受動的に移動する(○と●はI⁻の輸送体). ②ペルオキシダーゼがタンパク質(チログロブリン)のチロシン残基をヨウ素化し, モノヨードチロシン(MIT)とジヨードチロシン(DIT)が生成する(チロシン残基の側鎖部分のみ示す). ③ペルオキシダーゼがさらに作用し, チログロブリン分子内のMITとDITが縮合するとT₃前駆体となり, 2分子のDITが縮合するとT₄前駆体となる(T₄前駆体でのみヨウ素化される部分を括弧で示す). ④修飾を受けたチログロブリンはエンドサイトーシスでろ胞細胞に取り込まれ, リソソーム内のプロテアーゼにより加水分解される. ⑤生じたT₃やT₄は血中に放出される. 血中では, T₃, T₄の99%以上がチロキシン結合グロブリンに結合している.</p>
83	下から4行目	副腎皮質網状帯	副腎皮質球状帯
269	(3) 式	ボルツマン定数	気体定数
269	(3) 式	8315 J/mol K	8.314 J · K ⁻¹ · mol ⁻¹

2026年4月16日

株式会社南江堂